





7月18日、道南NOSA I  
今金家畜診療所裏手の今金町畜  
産共進会場において、第50回  
を迎える今金町畜産共進会が開  
催されました。当日は乳用牛18  
頭、黒毛和種牛35頭の合計53頭  
が出陳され、生産農家の日頃の  
研鑽努力による改良成果が披露  
されました。

審査は厳格公正に行われ、順  
位は下記の通りとなりました。  
また第60回道南畜産共進会は、  
肉用牛の部が8月1日、乳用牛  
の部が8月22日にそれぞれ八雲  
町にて開催されます。今金勢か  
らの出陳牛の活躍に期待しま  
しょう。



**未経産牛ブランドチャンピオン**  
クリサンス エルメン  
アイオーン カラー  
出陳者 菊地 章太

**経産牛ブランドチャンピオン**  
インヌマエル カット ブローカー  
出陳者 菊地 章太

| 部別  | 入賞家畜名                  | 出陳者   |
|-----|------------------------|-------|
| 1部  | クリサンス エルメン ゴールド ファンタジー | 菊地 章太 |
| 2部  | クリサンス エルメン サンチエス モーラ   | 菊地 章太 |
| 3部  | クリサンス ラブ シヤルロット ET     | 菊地 章太 |
| 4部  | クリサンス アレキサンダー プロミス     | 菊地 章太 |
| 5部  | クリサンス エルメン アイオーン カラー   | 菊地 章太 |
| 6部  | ホット アイオーン ダーハム         | 湯元 宏  |
| 7部  | インヌマエル クイーンズファイバー      | 山崎 良介 |
| 8部  | クリサンス エルメン サン アヤメ      | 菊地 章太 |
| 9部  | キクチ エルメン ブラクストン モーリス   | 菊地 章太 |
| 10部 | キクチ エルメン ダンレー          | 菊地 章太 |
| 11部 | キクチ エルメン ボルトン キキ       | 菊地 章太 |
| 12部 | インヌマエル カット ブローカー       | 山崎 良介 |
| 14部 | ブリーダーバード・ベストスリー        | 山崎 牧場 |

| 部別 | 入賞家畜名 | 出陳者   |
|----|-------|-------|
| 1部 | かつひさ  | 苅屋 康裕 |
| 2部 | かつはや  | 野田 定雄 |
| 3部 | ひめよし  | 佐藤 弘一 |
| 4部 | ゆき    | 田中 一也 |
| 5部 | ゆに    | 木島 隆浩 |
| 6部 | ひでみ   | 中野 勝広 |
| 7部 | ゆきな   | 木島 隆浩 |

**育成牛の部最高位**  
ゆに  
出陳者 木島 隆浩

**経産牛の部最高位**  
ゆきな  
出陳者 木島 隆浩



▲防疫検査を受けている様子

日本一の「今金男しやく」  
の元となる種子馬鈴薯の防疫  
検査が実施され、全筆合格し  
ました。春から優良種子生産  
に向けて何度も圃場を巡回し  
てきた生産者の皆さん、抜き  
取り等指導に当たられた補助  
員もほっと肩を撫で下ろして  
いました。今後も自主検査の  
実施など厳格な検査を行い収  
穫まで気を緩めずに、生育管  
理・環境整備の徹底をお願い  
します。

# 海外視察研修報告

JA 今金町 常務理事 船木 実

今回、道南・後志・日胆・石狩地区のJA常勤学経理事・参事の海外視察研修に参加させて頂きました。7月1日から9日の9日間の日程で、フィンランド・スウェーデン・ノルウェーの3カ国、総勢21名での研修でした。自国の農業の持続的な発展と食料安全保障の方向性を堅持しているEU諸国、とりわけ道内と気候が比較的近い北欧諸国の農業情勢を研修し、地域農業振興の一助とすることを目的に研修を実施しました。

## ○ノルウェー

国土の面積は日本とほぼ同じで、北部は北極圏に位置し、西は一角が複雑に入り込んだ海岸線が続くフィヨルド地帯。国土の大半がスカンジナビア山脈に覆われ平地が少なく、耕地は日本が425万haですが、南部地域では82万ha、その他の地域では畜産が行われています。3カ国の中でノルウェーだけがEUに加盟しておらず、理由の一つには豊富な石油・天然ガス資源を持ち、人口450万人に多額の利益をもたら

保護ができず、耕作地が多く生産力の高い国とは太刀打ちできなくノルウェーの農業が崩壊してしまう危険性があると言ったことであります。

## ○スウェーデン

国土の面積は日本の約1.2倍です。農業より林業が盛んで、山林は国土の6割以上を占め、製材の輸出量は世界第3位であります。農業は北部で酪農、中部地域で穀物南部地域で集約的な畑作と養豚が盛んであります。耕地は260万haであります。また、大部分の農家は森林を保有しており冬の重要な就業機会となっております。

スウェーデン農民連盟(LRF)を訪問し、組織の説明と農業の現状についてピーター氏とエイリック氏より講義を受けました。この組織は農民の代表組織をひとつにまとめ、農民の発言力と影響力を強めるため、農協連合会組織と農民組合組織(単協)の統合により1971年に設立された組織であります。農業従事者17万2千人、単協1,065、連合会17、関連団体26からなる組織で、総会は代議員150名で毎年5月に行われております。理事会は12名で毎年2名ずつ交代するそうです。農業者の75%が加入しており、残りの25%は大きな農家等でこの組織には加入していないそうです。組織の目的等は農地・森林から利潤がより多く上がるよう、北部・中部・南部地域の条件が均衡になるようしているとの事です。また、LRFは25名の職員で、その運営費はほとんどが子会社と資本利潤(土地賃貸)でどこにも頼っていないとのことでした。また、EUに占めるスウェーデンの状況は農業人口が

2%、農地15%、森林15%で平均温度が低く冬が長いため他のEU諸国に比べ条件が不利で、1995年EUに加盟後フリーマーケットとなり競争が大変であるため、EU共通農業政策に対抗(発言力)・適応できるよう競争に勝てるようLRF農業従事者数を増やすようにしているとの事です(森林所有者を含め)。また、加盟後は環境法・動物保護法・品質規制・ケミカル規制が厳しくコスト高になったようです。

## ○フィンランド

国土面積は日本の9割。スウェーデンと同様林業国(世界第5位)で、農業は気象条件から南部地域に限定されており、農場の平均農地は約28haぐらいであります。主な農産物は小麦、大麦、オート麦、てんさい、じゃがいも等で畜産部門では自給率100%を超え、穀物部門も高い率で維持しております。有機農業が盛んであり、視察先はアールバグ・ガーデンオフィスと言う1922年創業の農場を視察しました。2000年に有機農法に変更し現在に至っております。24haの耕作地に2,300㎡の温室のハウス(温水)でハーブやサラダ菜、食用花びら等を栽培し年に25万ユーロの売り上げがあるとの事です。供給先はヘルシンキ市内のマーケットやレストランとの契約で、消費者は環境を考えたオーガニックに理解を示し、特に都市部の富裕層が消費しているとの事です。アールバグ氏は3代目で42才、息子は大学で農業も学んでおり、EUから補助金をもらうためには資格が必要で、農業経営学も学んでいるそうです。最終利益は補助金を入れて売り上げの5~10%ぐら

いだそうです。

流通事情視察では、フィンランド国内でチェイン展開しているスーパーマーケット・Sグルーブに所属しているヘルシンキ駅前のSマーケットを視察いたしました。食味の

わからないハーブ系の野菜や食用花びら等変わった野菜が数多く陳列されておりました。また、レジは椅子に座ったままで会計をしており、日本のような挨拶は見られず、合理的なのかどうかは別にして国民性なのかなと感じました。

以上雑ばくな報告となりましたが、いずれの国も、福祉政策、環境政策、農業政策のすぐれた国で、驚くことに国民・一般消費者がそれらの政策に理解を示していると言つより、至極当たり前であると思つている事に印象深いものがありました。税金は消費税(23%~25%、食料品12%~13%)、所得税(20%~50%)ともかなり高いですが、そのことが当たり前で、その分医療費や学費がただ同然で、生活していける仕組みになっていきますし、蓄えがなくても安心して老後を送れる仕組みです。農業に関しても環境と合わせて国が責任をもっておこなっていることを実感しました。



しEU諸国の福祉水準、農業保護政策もかなり充実しており、加入するとEUの基準に合わせなければならぬので現状より悪くなるからであります。特に、農業の生産力はとても低いと、手厚い農業保護政策を行っておりEUに加盟すれば十分な

# Next GENERATION

## 新時代の担い手たち

第32回

八束中央地区 向井 宗征さん〔35歳〕

(むかい ひろゆき)

北海道檜山北高等学校卒 (就農13年目)

《経営作物》 水稻・軟白長ネギ

《家族構成》 向井 裕香 (妻)・太一 (子)・大貴 (子)・  
孝一 (父)・由美子 (母)・サダ (祖母)

今金町を担う若者達を紹介するコーナー。第32回は八束中央地区の向井 宗征さんをご紹介します。向井さんは一度外の世界を経験した後就農し、経営移譲を受けて2年目になります。青年部では副部長を務めており、若い世代の中心を担っています。趣味は柔道。小学生から柔道をしており、2段の有段者です。現在は少年団の指導をしています。そんな向井さんに色々なお話を伺いました！



《就農のきっかけは？》

小さいときから親が農業を営んでいるのを見ており、長男という立場もあっていずれば自分が農業を営みたいと思っていました。一度外の世界で社会勉強をした後、就農することを決めました。

《農業をしていて感じることはありますか？》

作物を作ることの難しさを実感しています。天候、肥料、水やりなどその年毎に違い、管理のタイミングが難しいです。経営が変わってからは、作物を自分で一から作っていく、いいものが取れたときの感動は一大事です。

《休日の過ごし方は？》

休日にはほほえないですが、たまの休みには家族で遊びにいったり旅行したりしたいです。

《今の生活はどうですか？》

経営を引き継いで2年目のため、覚えることも多く、また、子供も小さいのでやるのがたくさんあり大変です。しかし家族円満で非常に充実しています。

《今後の夢、またはどうしていきたいか？》

品質を向上させ、よりよいものを取り、消費者の皆様へ届けたいと考えています。そのために勉強と経験を積み、知識を高めていきたいです。

《向井さんより一言》

まだまだ未熟な点もあり、これから諸先輩方には色々とおアドバイスを求めることがあると思いますが、その際はご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願いします。また、青年部員の若い人とはどんどん交流していきたいと思うので、積極的に活動に参加してほしいです。よろしくお願ひします。

取材にご協力いただきありがとうございます。農業について学ぶことは尽きることなく、子育てと多忙な日々を送っていますが、今金農業の若い世代を引っ張り、今金農業を盛り上げていってください！

# ～営農技術情報 2014 8月号～

## 今後の農作物管理

### 水稲 (早3日)

- ・病害虫防除の徹底！  
(いもち病)
- ①出穂期と②その7～10日後の基幹防除を徹底するとともに、予察情報にもご留意下さい。
- ＜カメムシ類＞
- 乳熟期（出穂以降7～10日後）を中心に防除を徹底。その後は予察に基づき追加防除をご検討下さい。  
(気温が高く経過した場合、予察頭数以上の被害となるので注意！)
- ・出穂・開花時は水が必要！
- ・出穂・開花時は、稲の一生でもっとも水を必要とする時期です。3cm程度の浅水で湛水状態を保ちましょう。
- ・間断かんがいの実施。
- ・開花終了後は、間断かんがいを、を実施。落水後の入・排水と収穫作業円滑化のため、溝切り、を実施しましょう。
- ・登熟後半の土壌水分の維持！
- ・落水の目安は出穂後25日目頃（穂がみ期）とされますが、落水後は天候やほ場の状況に応じて適宜走り水を！（土壌水分が不足すると、枯上りが早まり倒伏につながります）
- ・育苗床土の培養
- ・苗床（置床）や箱土は、矯正期間を見越し早めに土壌診断を実施し、酸度矯正や培養に努めましょう。



### 小豆 (遅2日)

- ・病害虫の防除
- ・病害の発生や今後の天候に十分注意し、防除を行いましょ。
- ・マメアブラムシに注意！
- ・マメアブラムシは、黒色で集団寄生するのが特徴です。ほ場をよく観察し、早期の防除に努めましょう。
- ・病害の防除（灰色かび病・菌核病）
- ・今後茎葉が繁茂し、病害の発生・蔓延の恐れがあります。病害の発生状況を確認し、早期防除を実施しましょう。



### 馬鈴薯

露地 (早9日)  
早出 (早8日)



- ・露地ばれいしよ
- ・茎葉処理について
- ・デシカン乳剤の使用、使用基準を守りましょう。土壌が極端に乾燥しているときは避け、朝露の無い時間帯に、茎葉にムラなく散布しましょう。
- ・収穫作業について
- ・キズや打撲といった機械作業による規格外の発生が増えています。収穫前に収穫機械の調節・整備、特に緩衝材部分の調整を行いましょ。また、収穫時にコンベヤの回転速度・掘取り刃の深さを調節しましょ。茎葉処理後10日以降、ほ場が乾いた晴天の日に収穫作業を行いましょ。寒い日に行うと打撲が多くなります。
- ・収穫後のいもは、風通しの良い光の当たらない場所に置きましょ。JAで行う収量調査結果を参考にして作業を進めてください。
- ・早出しばれいしよ
- ・収穫作業について
- ・皮剥けを防止するため丁寧に収穫し、品質の良いばれいしよの出荷に努めましょ。

### 秋まき小麦

- ・9月は次年度のは種が始まります
- ・は種前に土壌診断を行い、土壌pHを確認し極端に低いほ場は、炭カルなど石灰質資材で矯正しましょ。生育期間中に低pHによる障害が出てしまつと、対処の方法がなく施肥効果が半減します。
- ・は種機の調節を行いましょ！
- ・「きたほなみ」は茎数が増加しやすく、適期・適量は種が重要です。は種作業の前に、は種機のは種量調節のダイヤルを調節して、適量は種を行いましょ！



### てんさい

(早9日)



- ・病害虫の発生に合わせた防除
- ・ほ場をよく観察し、病害虫の発生状況に注意しましょ。褐斑病の発生に注意し早期の防除を心がけましょ。ヨトウムシは若齢幼虫のうちに早めの防除を、ハダニは発生を確認したら、すみやかに防除を行いましょ。
- ・育苗土の準備
- ・病害虫が発生する恐れのない腐植に富む土を準備しましょ。pH矯正目標は6.0～6.5です。土壌pHを測定し、必要に応じて石灰質資材で矯正しましょ。

### ブロッコリー



- ・花蕾腐敗病の発生に注意が必要です。銅剤（「コサイド3000」等）は高温時の散布で薬害・葉斑を生じる場合がありますので、夕方などの気温の下がる時間帯に散布しましょ。

### にんじん



- ・黒葉枯病は、生育最盛期から後半に発生が多くなる病害です。
- ・気温が高く、晴天と雨天が繰り返されると多発します。
- ・収穫までの日数を考慮し計画的に防除を行いましょ。

### 軟白長ネギ

- ・8月はネギアザミウマ（スリップス類）の発生最盛期です。今年は特に高温乾燥傾向で推移していることから多発が予想されています。
- ・ハウス周辺の雑草から進入し、成虫および幼虫ともネギの葉上で食害します。ハウス周辺の雑草を処理するとともに発生に注意して適切な防除を行いましょ。



### 畜産

牧草 (遅4日)  
飼コーン (早4日)



- ・夏場の飼養管理
- ・生乳のMUNが適正な範囲（バルク・10～14mg/dl 個体・8～16mg/dl）になれば、飼料中のエネルギーと蛋白質のバランスがくずれてないかチェックしましょ。また食い込みが全体的に落ちていないか観察しましょ。
- ・放牧草の8月以降の再生量は、大きく下がります。放牧牛の栄養確保のため、面積を広げたり、乾草などを併給しましょ。
- ・2番草の刈取り
- ・刈り遅れは、ギンギシの繁殖を助長します。チモシー主体草地の刈取り適期は、1番草刈取り後50～55日ですが、マメ科率が15%以上で1番草を早刈りしたほ場や、中・晩生種主体のほ場は55～60日程度の生育期間を確保しましょ。また、オーチャードグラス主体草地は40～45日を目安に刈り取りを進めましょ。
- ・衛生管理の徹底
- ・残暑と湿度の高い状況が続きます。家畜の栄養補給に努め、「病気を持ち込まない、持ち出さない、広めない」ことを徹底しましょ。外部の人が入るエリアを制限し、家畜のエリアは乾燥と衛生的な状態を維持しましょ。
- ・草地の追肥
- ・チモシーは春先に、オーチャードは8月下旬に新芽の発生や分けつをおこないます。収量性向上のために、この時期に適正な追肥しましょ。

## テーマ 子牛の暑熱・寒冷対策について

日中の暑さの厳しい時期となってきました。暑熱対策をすでに取りられている方も多いと思いますが、中でも子牛の暑熱・寒冷対策について簡単にご紹介したいと思います。

### 牛の適温域

|        |         |
|--------|---------|
| 成牛     | 10℃～20℃ |
| 哺乳期の子牛 | 15℃～25℃ |



成牛は第一胃の発酵熱により、低温に対しても適応することができます。

子牛は第一胃が発達しておらず、成牛に比べて適温域はやや高温となっており、適温域を外れると生育により多くのエネルギーが必要となります。体が小さいため温度変化に弱く、ミルクの増給によって栄養要求を満たすだけでなく、まず子牛にとって快適な環境を用意してあげることが重要です。

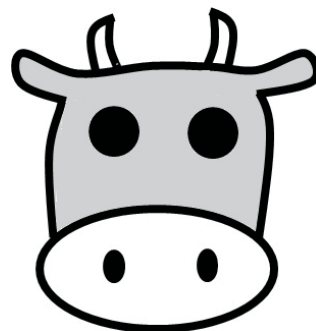
### 快適な環境を用意するために

今金町において、最高気温が25℃を上回るのは8月のみ(平年値)ですが、子牛の飼養場所によっては熱のこもりやすい構造の場合もあるかと思います。

こうした暑熱環境は温度変化によるストレスや糞尿由来のアンモニア刺激によって、肺炎などの病気を誘発し、成長に悪影響を及ぼします。

### 子牛の飼養場所は

- ①清潔にする ②豊富で乾燥している敷き料があること
  - ③すきま風が吹き込まず、かつ換気が良い場所を整える
- また日除けを設けたりする工夫も必要です。



### 寒冷時の管理について

一方で寒さに対しての対応は北海道では特に長期間に渡って気をつける必要があります。子牛の適温域である15℃を下回るのは9月から6月までの10ヶ月間と長いためです。

寒冷時の管理としては、保温はもちろん重要ですが濡れさせないこと、換気を確保した上で隙間風に当たらないことが必要です。保温にはヒーターや投光器、乾燥した敷き料を敷いた保温箱の設置、子牛用ジャケットなどが有効です。ただし、こうした保温は子牛の腹部が濡れてしまうと効果が激減するため、濡らす事は冷やすことと同じと考えて、乾燥状態を維持しましょう。与える水は温水にすることがお勧めです。また、換気が十分に行われないと夏季同様に肺炎等のリスクが高まります。換気を妨げず子牛を保温してくれるジャケット類は非常に有用です。

# 各課職員の紹介 Vol. 2

2回目の各課職員の紹介は金融部 共済課・営農部 農業経営課をご紹介します。JA今金町へお立ち寄りの際、または外勤の際はよろしくお願いします。

## 営農部農業経営課



【前列左より】

|        |   |        |
|--------|---|--------|
| 係      | 長 | 螺良 道子  |
|        |   | 田村 順子  |
| 専務理事   |   | 内ヶ島 道良 |
| 係      | 長 | 工藤 耕治  |
| 農業経営課長 |   | 佐藤 貴弘  |

【後列左より】

|   |   |       |
|---|---|-------|
|   |   | 大西 玲吏 |
|   |   | 佐藤 孝弘 |
|   |   | 山内 拓弥 |
| 係 | 長 | 田畑 大郁 |
| 係 | 長 | 岡野 孝  |
|   |   | 小玉 悠嗣 |

## 金融部共済課



【前列左より】

|     |   |       |
|-----|---|-------|
| 係   | 長 | 水本 和芳 |
| 共済課 | 長 | 佐藤 信也 |
| 係   | 長 | 笹森 孝丸 |

【後列左より】

|   |   |        |
|---|---|--------|
|   |   | 松田 早敦子 |
|   |   | 前田 光   |
| 係 | 長 | 平原 麻子  |



大学・短大・専門学校生大歓迎

JAグループ職員・社員養成学校

# JAカレッジ

●60名 ●1カ年・全寮制 ●24歳未満

●大学・短大・専門学校卒(見込)、高校卒(見込)

●試験日:12月9日・10日・11日 ●願書受付:9月8日~11月10日 ●学校見学もできます

男女共学

JA、JA関連会社へ就職

お問い合わせ  
資料請求

一般財団法人

北海道農業協同組合学校

〒069-0834  
(JAカレッジ)

江別市文京台東町43-1  
☎ 0120-918-417

JAカレッジ 検索

# 祝 国営今金南土地改良事業起工式

# 国営事業着工

6月に入り、昨年10月より測量に入っていた今金町の圃場にて国営緊急農地再編整備事業の工事が始まりました。

また、6月27日には着工するにあたり、関係者が参加して「国営今金南土地改良事業起工式」が行われ、工事が無事終わるよう祈願しました。これから今金町の圃場が生まれ変わります。将来の若手農業者のために今金町の農業がよりよいものになることを期待しています。



## ワンポイント1分間運動＜青年部編＞ 今月のテーマ～たくましい筋肉をつくろう！！～

※一般的な農家の家にある物（コンテナ等）を使用しておりますが、本来の用途とは違いますので強度等を確認して事故のない様に注意して行ってください。

のどが渇く感覚は年々鈍くなってきます。こまめに水分補給をしましょう。



今金町健康づくりアドバイザー  
下メップ高台地区 岸徹也さん

猫背解消・逆三角形な上半身を作るならこの懸垂です。手の幅は広く、背筋を伸ばしてゆっくりと



**背**



**胸**



厚い胸板ならこれです！！手の幅を広くゆっくりと行います



（一分間連続で）

（一分間連続で）



**腹**



（一分間連続で）

**脚**



10秒間キープ！！

これから長い収穫の秋を迎えます。大事な時期を乗り切る為に体力作り（簡単筋トレ）をしましょう。

モデル：金原中央地区 伊藤 和喜  
撮影協力：伊藤 節子・苅屋 泰裕